

令和2年度 射水市観光振興計画推進会議 会議録

日 時：令和3年2月17日（月） 午前10時～11時20分頃
場 所：大島分庁舎3階 大会議室

1 開会

(1)次長あいさつ

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた多くのイベントが中止となった。

一方で8月に旧新湊庁舎跡地に「クロスベイ新湊」、12月に小杉駅前に「スパホテル」がオープン。さらに、「富山湾しろえび倶楽部」が食と農林水産業に関するサステナブルな取組が評価され、サステナアワード2020で大賞を受賞されました。このような観光資源を有効に活用し、射水市全体の観光地としての魅力を高めることが必要。

本日の会議では、感染症対策を講じながら事業を実施していくためのご意見をいただきたい。

(2)会長あいさつ

全国の自治体が観光振興のために知恵を絞っているが、その中でうまくいっているところはあまりない。観光による地方創生はなぜうまくいかないんだろうといつも考えている。本日は委員の皆さまに積極的な意見・提案をお願いしたい。

2 議事

(1)射水市観光振興計画に係る事業の取組について（資料1～4）

事務局より説明

(2)委員からの意見及び提案等について

会長

資料についての意見や質問を伺いたい。

委員

観光アプリの状況はどうなっているか。

事務局

アプリのベースは完成している。中身のお店等の情報はまだ充実していない。

委員

資料4P3の「アテンダント」とは、具体的にどういったことをする方になるか。

事務局

この「アテンド」は、周遊バスに乗り、観光客に案内をしていただく方を想定している。今年度はまず、地域の方々に地元の魅力を知っていただくという目的で、養成講座を実施した。その際には、観光ボランティアの方にも案内係となっていたらご協力いただいた。最終的には、この養成講座の中から、実際にバスに乗って案内をしていただく方がでてきたらと考えている。

委員

年齢制限はあるのか。

事務局

年齢・性別に制限はない。

オブザーバー

前回までの会議で、入込数の数値があまり正確ではないという話があったが、最近の入込数の精度を上げるようなことはしているか。

事務局

入込数の調査は、各施設にアンケート調査を行い、集まった数値を資料として提示している。精度については確認させていただきたい。

会長

市の入込数は、各施設の入込数を足したものか。

事務局

各施設に対して入込数調査を行い、回答を集計したものが資料3となっている。

会長

どこの自治体もそうだが、この手の調査では、回遊した観光客をそれぞれの施設でカウントするため、ダブルカウント等が発生する。それをもとに計算すると、客単価は800円程になってしまう。いかに実態に即した入込数を把握できるかはポイントとなってくる。

委員

資料4の事業については、各事業の実績（数値等）をまとめて外部に発表する

機会はあるのか。

事務局

各事業については、年度末でまとめるが、それを外部に発信するという事はない。

委員

イベント等だと数値があり、実績がわかりやすいが、その他の部分についても数値を教えてほしい。数値があると、課題がわかりやすいし、より実態に沿った提案ができる。また、私たち自身も努力できる。

委員

あいの風鉄道では、4月から「あいの風サイクルトレイン」といものを予定している。既に海王丸財団には、ご協力いただいている。サイクリストが多く訪れると思うので、皆さまにもご協力をお願いしたい。

副会長

アフターコロナに対する仕掛けが必要。人が動き出したときに「あそこに行きたい」と思わせるような仕掛けを作っておくのがよい。

また、曳山の国指定重要無形民俗文化財をうけたことにより、一つの財産をどのような形でアピールしていくか考えていきたい。また、今年はコロナ対策を取りながら祭りをやっていきたい。

また、来年にはフットボールセンターが完成するため、合宿誘致を推進し、「スポーツ観光」という捉え方でも今後考えていきたい。

委員

べいぐるんと周遊バスを担当している。周遊バスの乗車人数は1便当たりほとんど1桁。一方でべいぐるんは、週末は満車。平日は放生津地区の高齢の方にご利用いただいている。その中で、高齢の方はスマホの操作ができず、予約ができないという欠点もある。将来的にはスマホの普及率も上がり、もっと活用できるようになると期待している。

一方で、旅行会社は疲弊している。例年は、団体旅行がウエイトを占めているが、今はまったく無くなってしまった。少人数グループでの旅行をPRするため、HPの充実を考えていきたい。

委員

最近NHKの「あさいち」にも出演させていただいた。地域のコンテンツを磨き続けていると、その魅力に気づいていただいて今回取り上げていただくことになっ

た。当たり前だと思っているものを宝物と思ってPRし続けることが重要。

また、「にゃっふる」という全国の猫の聖地を紹介したガイドブックの編集に携わり、その中で内川も紹介している。コロナ禍において、癒されたいと思う人にとって猫ブームがきている。

また、内川のガイド冊子「内川さんぽ」をクロスベイのオープンに合わせて再度製作した。この「内川さんぽ」という名前は、野村屋さんのお菓子（スノーボールクッキー）の名前が由来となっている。「内川」という名前のお土産がないことから、現在、ギフト用のお菓子としてブラッシュアップしており、販売を目指している。若者が内川を訪れた際に、「かわいい」、「買って帰りたい」と思えるようなものを作りたい。また、訪れなくても「お取り寄せしたい」と思えるようなものを目指したい。

委員

新しいフットボールセンターができるため、「スポーツ観光」の企画はぜひやっていただきたい。全国から合宿を誘致し、射水の子どもにもよい影響を与えられたらまた、よい。

農業を観光に結び付けていくことも重要。へちま等を作っているので、いろいろできると思う。

また、大島絵本館で、教育に携わる方を対象とした合宿ができればよい。

委員

観光推進においては、情報発信が大切。直前の発信は効果がない。旅行会社等への発信は少なくとも3カ月前。

スポーツ観光の発信については、新しい施設の概要を教えてほしい。その情報をもって合宿専用の旅行会社等へ発信できる。そのため、新しい情報は早くほしい。

また最近インターネットでの発信が特に大切になってきているため、皆さまと連携しながらやっていきたい。

会長

観光庁の2019年の調査によると、日本人の国内旅行者で、年配の方は値段が高い旅行に参加する傾向がある。その一方で、旅行先での消費に関しては、20代・30代の若い世代の方が多く消費している。このことから、ターゲットを絞った戦略が大事だと言える。

また、観光振興計画の中で滞在時間の延長が課題に挙がっている。インバウンドを対象としたときに、富山は日本各地に行くのに便利である。これは外国の方にとっては魅力的。国内のどこに住んで、どこに観光に行くのかと考えたときに、富山は住むところである。観光資源では全国で勝負できない。外国の方に長期の日本旅行の際に射水に住んでもらって、ここを拠点に観光にでかけてもらおう。今までとは

少し違った視点で考えてみてもよいかもしれない。

事務局

スポーツ観光については、合宿を専門に取り扱っている業者に話を聞いたところ、射水市にはこれまでに有名大学運動部の合宿誘致実績があると言っていた。市ではコンベンションの補助金も整備しているが、一方で、合宿等の誘致には、お弁当や、小売り、医療の充実が必要だと話があった。今後、こういった業者と連携して射水のPRに協力いただくことを進めていきたい。

また、明石委員のように商品開発をされる方への補助として、射水ブランド商品開発の補助金もあるので、ぜひ活用していただきたい。完成した商品に関しては、市でもPRさせていただきたい。

農業観光については、現在は、黒河の梨で行っている。また、イチゴ農家も観光の分野も手掛けていきたいと聞いている。今後も市全体で手がけていきたいと考えている。

また、ぜひ藤本先生に観光マーケティングについてお話ししていただきたい。

事務局

農協側でも農業体験を考えているという話もあるが、定期的なキャパシティを維持して提供できるかという課題がある。農業関係と異業種とのマッチング、例えば、旅行商品として組み込んでいくということを含めて考えていきたい。

漁業の面では、生のシロエビがその場で食べられるという体験を今年度から始めている。資源を有効に活用しながら、横のつながりをもって今後の展開を考えていきたい。

会長

それでは、オブザーバーより意見いただきたい。

オブザーバー

内川には干物のお店がある。家族旅行の際に、父は釣り、その間に母は干物が作ることができるというような、長時間滞在できる仕組みづくりをすれば、観光客が増えるのではないかな。

また、外国人観光客は自分の国で体験できないことを求めているとよく聞く。内川について、民話等を探してみたが、見つからなかった。地元の人から聞いて、海外の人向けに発信してみたらどうか

本日は、活発な意見交換となったと思う。また今後も頑張ってください。

3 閉会

副会長あいさつ

今年もウィズコロナでやっていくしかない。その中で、藤本会長からは「住むところ」という新しい視点もいただいた。

また、他の委員からは、数あるコンテンツを磨くことで情報発信になるのではという意見もあった。今は仕込みの時とすれば、コンテンツを磨いておく必要がある。

官民でこの会議をきっかけに、射水の観光振興を引っ張っていければよい。